



### 「はにとん EXPO」開催！ 古代の魅力を感じ

5月9日、大阪大谷大学博物館で、特別展「ハニワ輝く古代富田林のデザインーはにとんEXPOー」の関連イベントである「古代フェス」が開催されました。

展示室内では本市出身の中村 麻衣子さん<sup>まがたま</sup>と考古学者の河内 一浩さんによる埴輪・古墳トークが行われ、埴輪や古墳をモチーフにしたハンドメイドグッズが販売されました。

また、展示室前では勾玉づくりや埴輪の絵を写し取るフロッタージュ、土器パズルなどのワークショップも行われ、多くの人でにぎわっていました。



### ウォーキングで富田林を再発見！

5月17日、市スポーツ推進委員協議会・市レクリエーション協会の主催で、ライフ・チャレンジ・ザ・ウォークが実施され、計243人が参加しました。

快晴の下、川西小学校を発着点として、3km、7kmのコースに分かれ、たくさんの参加者がスタンプラリーやゲームを楽しんでいました。



### 今年も開幕！ 市民体育大会

5月10日、市民総合体育館で、第74回市民体育大会の開会式が開催されました。

開会式には、各競技の選手や役員が参加し、前年優勝チームから優勝杯返還の後、卓球の部に参加する選手からの力強い選手宣誓がありました。

来年1月まで市内のスポーツ施設で、熱い戦いが繰り広げられます。



## 被災地の復興を願って

5月下旬～6月上旬、市内各所の田んぼで、「奇跡の復興米」の田植えが行われました。

この取り組みは、東日本大震災の被災地、岩手県大槌町で津波に負けず穂をつけた稲にルーツをもつ苗を、JA大阪南をはじめ、地元の皆さんが協力して栽培したもので、今年で13年目を迎えました。

東条地区の田んぼでは、東条小学校の5年生が、慣れない泥に苦戦しつつも、一生懸命に苗を植えていました。



## 子どもたちから岩手県大槌町へ応援メッセージ

昨年度、「奇跡の復興米」の田植えの取り組みに参加した喜志小学校と東条小学校の6年生が、今年発生した林野火災で被災された大槌町の方々への応援メッセージを作成しました。上記二校では、これまで継続的に地域の水田で「奇跡の復興米」の稲作を行い、大槌町と関係を築いてきました。

子どもたち一人一人が心を込めて作成した応援メッセージは、市役所を通じて、大槌町に届けられています。

みんなの気持ちが届くとうれしいな

